



オレンジレンジ 「以心電信」



私の心に残る1曲は、オレンジレンジの「以心電信」という曲です。心に残る・・・というよりも、聞いたり歌ったりすると元気が湧いてくる曲です！

私は高校まで地元から離れた事がなく、保育士を目指して短大へ進学したのが初めての事でした。同じ短大へ進学した友だちもいない、さらには初めての寮生活。不安でたまりませんでした。ですがそんな不安もすぐに消え、寮の仲間と意気投合♪同じ屋根の下、家族同然になっていきました。2年間の寮生活時代はオレンジレンジが流行っていて、みんなで楽曲に夢中になっていきました。ライブに行ったり、朝までカラオケで歌ってみんなで盛り上がりたり・・・今ではよくやっていたな～と昔の自分達の若さを懐かしんで笑い話になっています。

卒業後は寮の仲間達はみんな離れ離れになって、ママになったり、それぞれの道で頑張っています。なかなか会えないけれども、「♪いつも僕等はつながっているんだ♪」この歌詞の通り、離れていてもいつも力になってくれる友だち。元気がない時は思い出のこの曲を聴いて、元気を充電しています！



こどものつばき ことば&アート



<目の調子が悪く、しばらく眼鏡をかけていたT先生。それを見て5歳児女児とのやりとり>
Aちゃん「せんせい、なんでずっとめがねなの？」
T先生「目痛くてさ～しばらく眼鏡なの～」
Aちゃん「まだ “め” わるいの？」
・・・T先生はコンタクトで常に目が悪いのですよ・・・

2歳男児



<園庭遊びでポックリを持ちながら歩き回る2歳児女児の一言>

(地面にポックリをつきながらゆっくり歩いている)

Hちゃん「みてー！！
そうさんのあしみたい！！」



3歳女児



4歳女児



5歳男児

..... ぶっくえんど

暑かった夏も過ぎてしまえば、あっという間でしたね。あんなに心配していたスーパー猛暑もあったのかな？とってしまうほど。そう考えるとその時は必死すぎて感じられずにいる気持ちや思いもあるのかもしれません。

さて皆さんは好きな季節はありますか？私は「秋」が好きです！好きな理由として「気持ちのいい秋風の中、外でいっぱい遊べる」「夕焼け空がとってもキレイ」何より「美味しいものがたくさん！！」小さい頃はそれにプラスして「誕生日をお祝いしてもらえる」が好きな理由としてありました。これから自分の好きな季節を楽しめると思うとウキウキわくわくです♥でもせっかくの四季折々を必死すぎて楽しめないのはもったいない！！

29年度も折り返し時期にきました。年度後半もたくさんの「楽しい」を感じていきたいものです。

ぶらんこ担当 星野 朋美

ぶらんこ

第77号 2017年9月26日
松ヶ岬保育園
〒992-0059
米沢市西大通1丁目6-56
TEL21-0349/FAX21-0369
E-mail matsuga@smile.ocn.ne.jp
http://www.syogokai.jp/matsugasaki/



年長児の保育



栗山遠足
IN 飯豊少年自然の家



0・1才親子バス遠足
IN 南陽市花公園・ドリームランド





そのクラスならではの子どもの姿や保育の特徴・・・などなど
のぞいてみたいな♪そこで担任の先生に聞いてみました!!

5才児 あおくみ 担任の情野希恵です!



松が岬保育園の5歳児、青組は、保育園の一番上のリーダーとして、積極的に活動しています。例えば、赤組、黄色組さんのお布団敷きです。去年から取り組んできて、最初は「大変だ」となかなかみんなできず、時間がかかりました。しかし今では、みんなで声を掛け合いながら、「～はこっちゃってね」とお互いに役割を決めながら行えるようになってきました。またおやつ準備では、おやつカードの数と椅子の数を自分達で数えて揃えたりすることも早くできるようになってきました。

行事等でも、青組さんが見本となり、小さいお友だちにも丁寧に教えてくれます。これからの運動会でも、お遊戯や、応援合戦などチームのみんなを引っ張って、団結して欲しいなと思っています。

クラスの活動としては、運動遊びを積極的に取り入れています。とにかく体を動かすのが楽しくて仕方がない青組さん。今は縄跳び・跳び箱にも沢山挑戦しています。負けず嫌いなところもあり、お家でも意欲的に取り組む様子が見られます。「出来た!」と言う喜びを一緒に感じたり、悔しいと思ったとき、出来るようになるためにはどうしたらいいか一緒に考え、子ども達の気持ちの面にも寄り添っていきたくと思っています。また友達同士でも、励ましあったり、教えあったりしてお互いに助け合いながら、クラスの団結を深め、これからの活動にも意欲的に取り組んでほしいと思います。

いま

ちまたで

今ちまたで流行っている、これから流行るであろう、
またお母さん自身が流行らせたいものを紹介!!



なおたろうくんママ (びっころ)
渡邊 友美さん



今、巷では芋煮シーズン真っ只中ですね。今でこそ秋になると、あ～芋煮会したいなあ、と思う私ですが、岩手県出身のため、初めて「芋煮」という文化を知った時はカルチャーショックを受けました。そこで今回は山形食文化びっころランキングを紹介いたします。

第3位は「芋煮」です。何がびっころって、鍋一式がスーパーで貸し出されることやコンビニで普通に薪が売られていることですね。醤油で牛肉VS味噌で豚肉戦争もなかなか白熱していたし、最後にカレーうどんになってしまうという混沌さも素敵です。小さな子供がいると大変ですが、それでも河原で薪を使った正統派芋煮をやりたいなあと思います。

第2位は、「だし」! 存在は知ってはいましたが、生野菜をホカホカご飯にかけるというのはハードルが高かったです。ところが! 食べてびっころおいしい! きゅうりの食感がしゃくしゃくで、納豆昆布のねばねばがごはんにぴったり、ペロッと完食でした。

そして栄えある第1位は「そうめん+サバ缶」です! こちらは夫に教わったのですが、最初は意味が分かりませんでした(笑) そもそも水煮って? から始まり、めんつゆに入れる? そうめんだよ? と、夫の言葉を全く信用せず。しかし、仕方なくめんつゆに入れて食べてみると、おやおや? さっぱりしたそうめん+サバのうまみがからまり、美味! 今年の夏もお世話になりました。なんと言っても作るのが楽なのが最高です! 実家の母も感動し、なんなら岩手県でも広まる勢いです。

他にも、冷やしラーメン(冷やし中華じゃなくて?) や、板そば(何人前?)、クラゲソフトクリーム(木耳? クラゲ?) など、山形の美味しい魅力に、はまりっぱなしです。

こんな料理もあるよ! というお母さん、ぜひとも教えてくださいな～!!

大きくなった君へ...

大きくなった将来の我が子へ宛てた
お父さんやお母さんからの手紙です。

朋輝くんのお母さん
高橋 真由美さん



二十歳になった朋輝は何をしているのかな? 学生? それとも社会人かな? 朋輝の夢に向かって頑張っているところかな...

朋輝がお母さんのお腹の中にいる時、悪阻が酷く、お医者さんには、まれにみる悪阻の酷い人と言われ、水一滴も飲むことができなくなり、ずっと入院し点滴の毎日。体重は14キロ減でホント辛い日々だったけれど、お腹の中で元気に育ち生まれて来てくれた時にはすごく嬉しかったし、昨日のこのように覚えています。

保育園の頃は、お友達に比べると小粒でしたが、やんちゃで元気パワーは誰にも負けないくらいでした。この手紙を書いた頃の朋輝は反抗期まっただ中で、毎日のように困らせ手を焼いていました。

朋輝はお兄ちゃん何と何でも一緒にやりたがり後をついていって、まねっこして同じ事をやっていたね。お家の人の中で一番好きな人は誰? と朋輝に尋ねると迷わず「お兄ちゃん」と答えていました。二人は喧嘩もよくしたけど、朋輝はお兄ちゃんのごことが大好きでした。今も兄弟仲良くしていますか? 何か困ったりした時は、お兄ちゃんを頼りお互いに助け合って欲しいと思っています。

一度きりの人生なので、悔いの残らないようにいろいろな事に挑戦して行って欲しいと思います。二十歳の朋輝にはこれから先たくさんのお母さんの困難が待ち受けているでしょう。前を向き立ち向かって欲しいと願っています。

朋輝は意地と根性のある強い子です。「やれば出来る!」とお母さんは小さい時から言ってきましたが、行動しなければ何も始まらないし諦めないことが大事です。

朋輝はどんな夢を叶えようとし、どんな職業を目指しているのか楽しみですが、家族皆朋輝を応援し見守っていますよ。トモ、頑張れ!

母より



松が岬保育園の看護師さんの情報発信コーナー

おしえて〜じゅんこせんせい!!

〜鼻水〜

季節の変わり目やアレルギーなどにより、子どもは鼻水が出やすくなります。また、子どもの鼻の中は空間が狭く、少しの気温の変化で鼻水の分泌が増えます。鼻水の他に、発熱、喉の痛み、食欲不振、黄色や緑色の粘り気のある鼻水が続くなどの症状があれば病院で診てもらいましょう。

どうして鼻水が出るの?

鼻水は体を守るために必要なもので、鼻や喉に付いたウイルスを排除するために出るものです。また、炎症を起こした鼻の粘膜を守る役目もあります。

小さい子はこまめに吸い取ってあげましょう

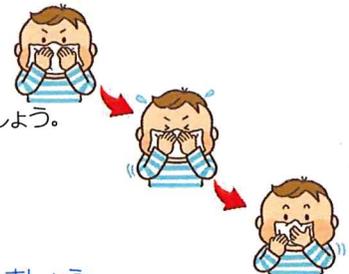
まだじょうずに鼻をかめない子は、ティッシュでこまめに拭いてあげたり、鼻水吸引器などを使って吸い取ってあげたりしましょう。また、頻繁に鼻水を拭いていると、鼻の下の皮膚が赤くただれてくるので、その場合は炎症を抑える軟膏を塗ってあげましょう。

鼻がかめるようになったら

自分で鼻をかめるようになってきたら、片方ずつ、軽いかむように習慣付けましょう。

〈鼻のかみ方〉

- ① まず、口から息を吸い込みます。ティッシュを広げ、鼻全体を包むように押さえましょう。
- ② 片方の鼻の穴を押さえ、ゆっくり少しづつかみみます。強いかみ過ぎないように気を付けましょう。強いかむと耳を痛めてしまったり、炎症がひどくなったりすることがあります。
- ③ 鼻をつまむように拭き取り、ティッシュはゴミ箱に捨てましょう。



鼻が詰まっていて鼻水が出ない時は、水分をこまめにとり、部屋の湿度を調節しましょう。